



令和3年3月29日（月）

## 「健口スマイル推進事業の展開に関する連携協定」を締結 全国でも珍しい“歯と口の機能低下の予防・改善”で官民協働

公益社団法人山口県歯科医師会（会長：小山茂幸）と山口県、一般社団法人山口県歯科衛生士会、サンスター株式会社、ライオン株式会社、株式会社ロッテ、株式会社山口フィナンシャルグループは令和3年3月26日（金）、山口県庁において、村岡嗣政知事、小山会長ほか関係者出席のもと、県を挙げて推進する「健口スマイル推進事業」の展開に関する連携協定を締結しました。県民の健康寿命の延伸に向けた、歯・口腔の機能低下の予防・改善促進に関する行政と歯科医療団体、複数の民間企業による協定締結は全国でも珍しいことです。



「健口スマイル推進事業」とは、歯・口腔の機能低下の予防・改善を通じて県民の健康寿命を延伸することを目的とした各種取り組みを行う事業で、「健口スマイル」をキーワードに山口県をはじめとした公的機関と民間事業者による官民協働の県民運動です。

この事業の特徴は、県民が自らお口の健康を意識して口腔健康管理を実践していくことです。そのためにも地域の人々がこの運動を自走でき、継続性のある運動としていく仕組みづくりが重要となります。官民が一体となり、知恵を出し合いながら施策を講じてまいります。

特に今回は、ともすればライバル関係にある企業が協力し合って事業を推進する日本では例を見ない取り組みといえます。

協定に示された3つの項目（1 健口スマイル推進事業の展開に向けた県・市町の施策の推進に関する事項、2 企業及び団体等における健口スマイル推進事業の展開に関する事項、3 その他県民サービスの向上及び地域社会の活性化に関する事項）を踏まえ、本事業に参画する各事業者の特性を活かしながら、次に示す6つの事業を5か年にわたり推進し、口腔衛生に関わる県民意識を醸成していきます。

1	学校や職場での口腔ケア新習慣の定着 昼歯みがきを定着させ、一日三回以上の歯みがき習慣を（現状は2.3回）
2	高齢者の健口運動を推進し長寿を応援 歯周病を予防し咀嚼力を維持して笑顔あふれる楽しい第二の人生を
3	妊産婦・乳幼児に役立つ口腔衛生知識を 新たに人生100年を生き抜く子どもたちの歯をパパママが学んで守る
4	栄養バランスから口腔機能向上を図ろう 食べ物にも気を配り口腔環境を健全に維持して誰もが8020を目指す
5	咀嚼力アップで認知症予防対策を支援 噛む力を維持することで、仲間と楽しく語り合える日常をおくる
6	健口生活であらゆる活動をいきいきと 口腔機能を健全に維持してあらゆるパフォーマンスを発揮できる日常を

近年は健康志向の高まりを受けてヘルスケア関連の様々な商品・サービスに関心を向ける生活者が増えています。その一方で、口腔機能や口腔環境の健全な維持・向上についてはあまり関心が払われていません。

本事業では「健康と笑顔は口元から」を合言葉に、子どもたちの歯みがき習慣の定着、社会人の昼歯みがきの定着、妊産婦の方々の口腔環境意識の触発、成人や高齢者の歯周病の予防など、口腔機能の健全化に欠かせない様々な啓発活動（ポスターやチラシの配布等）やイベント事業（健口体操や歯みがき大会等）、市民参加型の実証事業を、学校、職場、産婦人科、歯科医院、高齢者の通いの場や各種店舗・公的施設などと連携して幅広く展開します。さらにその結果を分析・フィードバックし、より効果的な手法を構築するとともに、これらの活動を普及するためのリーダーの育成・裾野の拡大に取り組むことにより、直接的・間接的に県民の健康長寿をサポートし、中長期的には山口県の医療費削減にも寄与していきたいと考えます。



健口スマイル・ロゴ



啓発ポスター

山口県歯科医師会ホームページ  
<https://www.ygda.or.jp/>

